

7. 学校研究

1. 研究主題

「主体的に学ぶ子の育成」

～「わかった」「やってみたい」と実感できる算数科の授業を通して～

2. 研究主題設定の理由

本校は、昨年度から算数科の研究に取り組んでいる。これまでの授業実践では、発問の工夫、思考の過程を意識した板書、ノート指導の工夫、ペアやグループ活動を通しての協働学習に取り組んできた。さらに、児童が主体的に学習に取り組めるように、児童の言葉を拾い、つなげ、まとめる授業を展開してきた。成果として、課題提示の工夫をはじめ、児童が考えたいくなるような授業づくりに組織的に取り組んだことで、児童の授業への参加意欲を高めることができた。

しかし、「全国学力・学習状況調査の結果分析」において、記述問題で条件に満たない解答をする児童や理由を答えられない児童が多くいることが分かった。特に、図形領域に課題が見られ、「問題を理解できない」「自分の考えを整理することができない」「よりよい考えや答えを導くことができない」「習ったことを生かすことができない」など数学的な見方・考え方を働かせることに課題が見えてきた。日々の授業でも、「算数は難しい・わからない」という困り感を持っている児童も多く、さらなる個別支援をしたりわかる授業づくりに取り組んだりする必要があることを感じた。これらの課題解決を図るため、算数が苦手な児童も授業に主体的に参加でき、数学的な見方・考え方を働かせられるような授業改善が必要だと考えた。

そこで今年度は、これらの課題や状況を踏まえ、研究主題を『主体的に学ぶ子の育成』とし、副題を『「わかった」「やってみたい」と実感できる算数科の授業を通して』と設定した。また、加賀市の教育ビジョン「子どもに委ねる学び」を受け、自立した学び手を育てるための柱として「やってみたいと自ら動き出す授業づくり」、教科でつきたい力をつけるための柱として「数学的な見方・考え方を働かせた図形領域における授業づくり」の2本の柱を重点に置くことにした。児童が主体的に算数の学習に取り組み、数学的な見方・考え方の育成につながる授業づくりを目指し、引き続き組織的に研究を進めていきたい。

3. 研究内容

(1) やってみたいと自ら動き出す授業づくり

- 児童の意欲を引き出す工夫
- 個に応じた手立ての工夫
- 自分の学びを実感し、次につなげる振り返り

(2) 数学的な見方・考え方を働かせた「図形」領域における授業づくり

- ねらいの明確化
- 数学的な見方・考え方を働かせるための工夫
- ねらいに合った適用問題

4. 検証

- (1) 児童用算数アンケート
- (2) 教師用算数アンケート
- (3) 図形領域のテスト

5. 共通実践

(1) やってみたいと自ら動き出す授業づくりにおける共通実践

- 意欲を喚起する課題提示の工夫
- 動橋っ子手立てシート（予想されるつまづきや支援方法を整理する）の使用
- 振り返りのポイントの提示と振り返り（ノート・スプレッドシート）の記入

(2) 数学的な見方・考え方を働かせた「図形」領域における授業づくりにおける共通実践

- 単元導入時に、つきたい力やゴールの姿、学習の見通しを児童と共有する
- 算数の時間で大切にしたい考え方カードの使用

<p style="text-align: center;"><視点>きまりを見つける 前と同じように考える わかっていることを使う 似ているところと違うところを整理する 他の場面でも使えるか考える 図や記号を使って表現する 理由を考える</p>
--

- 学びを実感できる適用題の工夫

(3) 学びの基礎づくりにおける共通実践

- 学習規律の徹底（いぶりはしっこ すっきり・ばっちり 3・3アイテム）
- ノート指導の共通理解の提示
- 板書ユニバーサルデザインカードの使用
- 校内ノート掲示
- 校内ほかほか掲示板（学年の成長や頑張りを視覚化）

6. 研究の推進にあたって

- (1) 研究推進委員会にて、研究の方向性や実践について話し合う。
- (2) 研究全体会にて、研究の方向性や実践の共通理解を行う。
- (3) 部会で指導案検討を行い、模擬授業、研究授業、整理会を行う。
- (4) 校内研修サポートを活用する。
- (5) 先進校の実践を学び、研修報告をし、共通理解・共通実践につなげる。

7. 研究構想図

学校教育目標
豊かな心で自ら考え、主体的に行動する動橋っ子の育成

〈めざす児童像〉
○あきらめずにやり抜く子 ○進んで学び、互いを高め合う子 ○ふるさとを愛する子

主体的に学ぶ子の育成
～「わかった」「やってみたい」と実感できる算数科の授業を通して～

やってみたいと自ら動き出す授業づくり
○児童の意欲を引き出す工夫
○個に応じた手立ての工夫
○自分の学びが実感できる振り返り
自立した学び手

数学的な見方・考え方を働かせた「図形」領域における授業づくり
○ねらいの明確化
○数学的な見方・考え方を働かせるための工夫
○ねらいに合った適用問題
教科

加賀市が目指す子どもの姿
○子どもが単元のねらいやゴールをふまえて活動の見通しをもっている
○子どもが自分ごとの問いや？（はてな）をもっている
○子どもが学んでいることを自分の言葉で語ることができる
○子どもが自分の考えを深め、広げるための教材や他者との対話の場を自己調整している
○子どもが今日の自分の学びを振り返り、次の学びにつなげている

安心して学び合える学級(学級経営)

動橋小 3つの約束
① 自分からあいさつをする ② 自分も周りの人も大切にする ③ 自分から進んで行動する

学び合いを支える居心地のよい学級集団づくり
～ いぶりはしっこ すっきり・ぱっちり 3・3アイテム ～

いぶりはしっこすっきりアイテム	いぶりはしっこぱっちりアイテム
① 休み時間のはじめに、次の時間の準備	① 正しい座り方
② はじめとおわりに、しっかりあいさつ	② 相手を見て話す・聞く
③ チャイムの前に着席・バルスタ	③ 話しやすい雰囲気づくり

生徒指導の4つの視点を生かした授業づくり

- ・自己存在感の感受(考えを認める声かけ)・共感的な人間関係の育成(肯定的に話を聞く)
- ・自己決定の場の提供(自分の考えを持つ)・安全・安心な風土の醸成(安心感を与える)